

(概要版) 福祉の職場に関する就職希望状況等の調査

徳島県福祉人材センター

福祉人材センターの求職登録者や、徳島県内の福祉養成校の学生を対象に、福祉の職場に関する就職希望状況等を調査し、状況を把握することで、無料職業紹介事業の求人開拓や円滑な職業紹介に繋げるとともに、人材確保をめぐる状況や課題を関係者で共有することで、徳島県の福祉向上のための取り組みを連携して進めていくことを目的にアンケートを実施した。

- ・実施時期 令和5年7月3日(月)～令和5年9月30日(土)
- ・対象者 アイネット求職登録者及び県内福祉養成校の学生
- ・回答者 486名(無記名)(内 学生 458名)

- ①福祉のイメージについて 「人(社会)の役に立つ」が最も多く(約63%)、次いで「やりがいのある」「給与が仕事内容に合っていない」「キツそう」との回答が多かった。
- ②福祉の職場で働く際に必要だと思う能力 「優しさ」「明るさ」「礼儀」の回答が多かった。
- ③職場に求めるもの 「人間関係」が最も多く(約81%)、「休日・休暇の取りやすさ」(約68%)「希望水準以上の給与」(約54%)の回答が多かった。
- ④希望する雇用形態 「正職員」の回答が全体の約8割であった。また、約3割が18万円～20万円の初任給を希望しているとの回答であった。
- ⑤福利厚生の制度としてあればよいと思うもの 「健康診断の費用補助」「有給休暇以外の特別休暇制度」「交通費補助」「退職金制度」の回答が多かった。
- ⑥アイネットに求人登録をしている理由 約39%が「既に仕事をしているが、良い条件があれば転職したいから」、約25%が「今すぐ就職(転職)したいから」との理由であった。
- ⑦就職活動の際の派遣会社への登録について 約6%が「登録している(いた)」と回答した。また、登録した理由としては、「多くの情報を得るため」が約82%と最も多かった。
- ⑧就職活動の際、利用しているところ 「学校就職支援センター(約46%)」「ハローワーク(約37%)」との回答が多かった。
- ⑨就職活動を行う際、参考になっているツール 「事業所ホームページ(約32%)」「求人サイト(ハローワーク)(約28%)」との回答が多かった。また、「職場体験(見学含む)(約20%)」との回答も多かった。

【まとめ】

回答のあった486名のうち、大半が「やりがいのある」「人(社会の役に立つ)」といったプラスのイメージを持っている一方、「給与が仕事内容に合っていない」「キツそう」といったマイナスのイメージを持っている方も多くいることが分かった。将来の福祉人材の確保のため、福祉の現場の現状を今後も発信していく必要がある。また、働く際に職場に求めるものとしては、「人間関係」「休日・休暇のとりやすさ」との回答が多く、福利厚生制度としてあればよいものとして「有給休暇以外の特別休暇制度」の回答も半数以上を占めていることから、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が表れている。

また、就職活動を行う際に利用している所としては、学生が回答者の多くを占めていたことから、「学校就職支援センター」「ハローワーク」との回答が多かった。また、派遣会社への登録状況については、登録者は約5%と少数で、情報収集のため登録している方が8割以上であった。

情報収集としては「事業所ホームページ」との回答が多く、積極的な情報発信が求められている。また、「職場体験(見学含む)」を就職の際の参考にしている方も多くいることから、センターとしても、今後も積極的に体験や見学を求職者に勧め、マッチングに繋げていきたい。